

～地域振興と復興事業に当社の両面発電太陽電池が採用されました！～

太陽光発電で野菜が育つ？！

I o T 営農にソーラーシェアリングを活用する新事業 「AgriNova」(アグリノバ)を福島で始動。

■事業の概要

本事業は、仙台市の総合設備会社である(株)馬淵工業所が、「自然エネルギーを活用した I o T 営農による産地化促進プログラム「AgriNova」(アグリノバ)」の実用化開発を目指し、福島県浜通り地域の産業復興の早期実現を図る目的で、福島県により採択された新事業です。

施設は平成30年2月22日より、福島県南相馬市において稼働を開始しています。



(株)北海道PVGSのwebサイトURL ⇒ <https://hokkaidopvgs.jp>

目指すのは、再生可能エネルギーの「地産地消」！

～自然エネルギーで運営コストを抑えながら、室内環境をコントロール！～



■事業説明

1. 本開発は、施設全体のエネルギーを太陽光発電の電力で賄うことを目標にしています。
2. 施設の中央に位置するのは、暖気・熱水等の熱エネルギーをつくる太陽熱集熱装置です。
3. 2でつくられた熱エネルギーを施設に供給するフィールドヒーティング設備を設置してあります。
4. 写真左奥に位置する広さ約140㎡の大温室、その手前に見える約12㎡ x 3棟の小温室の室内環境を、自然エネルギーで運営コストを抑えながらコントロールすることを目標にしています。
5. 与圧式二重構造の育苗施設は、病虫害防護と安定環境下でのI o T 管理育苗を実現しました。
6. 本育苗施設では、定植後も生育状況をトレースする予定です。太陽電池下で農作業ができるように、架台を高く設計し、透過性の高い両面強化ガラスで覆われ、積雪時にも発電量を得られる両面発電型太陽電池を採用しています。

本件の取材及び問い合わせ先

株式会社北海道PVGS

(札幌市中央区大通東3丁目1番地 倉沢ビル3F)

TEL : 011-522-5245 <http://hokkaidopvgs.jp>

携帯 : 090-3217-5223

E-mail : info@hokkaidopvgs.jp

担当 :

埜本(タオモト)